

# 1 ガバナンス

## ——経営戦略としてのサステナビリティ

ガバナンスは、企業がパーパスを設定する際の基盤であり、豊かで持続可能な社会に貢献する企業の活動を監督するものだ。優れたガバナンスがなければ、企業は「地球」、「人」、「豊かさ」の3本柱を発展させるための支援の文脈を欠くことになる。

世界経済フォーラム白書「ステークホルダー資本主義を測定する」より

012

013 当グループの「ガバナンス」に対する考え方

014 コーポレートガバナンス

019 サステナビリティ推進体制

030 コンプライアンス・公正な事業遂行

038 業務品質の高度化に向けた取り組み

039 リスク管理

050 環境・社会課題の解決に向けた取り組み



## 当グループの「ガバナンス」に対する考え方

当社は、信託の受託者精神に立脚した高い自己規律に基づく健全な経営を実践し、社会からの揺るぎない信頼を確立するために、グループの持続的な成長および中長期的な企業価値の向上を図る観点から、下記の基本的な考え方に沿って、コーポレートガバナンスの充実に取り組んでいます。また、当グループの存在意義（パーパス）を定義し、少子高齢化、気候変動、デジタル化などの重要課題（マテリアリティ）を特定の上、社会課題の解決を使命とするとともに、自らの成長機会と認識し、「社会的価値と経済的価値創出の両立」を経営の根幹に据えています。取締役会は、当グループの全ての役員・社員が共有し、あらゆる活動のよりどころとなる経営の基本原則として、グループの存在意義（パーパス）、経営理念（ミッション）、目指す姿（ビジョン）および行動規範（バリュー）を制定しています。

### 基本的な考え方

- 当社は、株主の権利を尊重し、株主が権利を適切に行使することができる環境の整備と株主の実質的な平等性の確保に取り組んでまいります。
- 当社は、社会的責任や公共的使命の重要性を認識し、株主、お客さま、社員、事業パートナーおよび地域社会をはじめとしたさまざまなステークホルダーとの適切な協働に努め、高い自己規律に基づき健全に業務を運営する企業文化・風土を醸成してまいります。
- 当社は、ステークホルダーとの建設的な対話を行う基盤を構築するために、ディスクロージャーポリシーを別途定め、非財務情報を含む会社情報の適切な開示と、企業経営の透明性の確保に努めてまいります。
- 当社は、当グループの経営管理機能を担う金融持株会社として、指名委員会等設置会社の機関設計を採用し、執行と監督の分離による取締役会の監督機能の実効性確保に努めてまいります。
- 当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に資するよう、ステークホルダーとの間で建設的な対話を行います。

### サステナビリティに関する課題認識

昨今の環境・社会の各種課題が複雑化する中において、さまざまな機能・システムを整合させ、環境や社会が長期にわたり良好な状態を維持できるように一つ一つの課題に向き合っていくことが必要と認識しています。

当グループとしては、これまでもサステナビリティに関してさまざまな取り組みを進めてきましたが、従来の制度・システムを運用継続するだけでは不十分との認識に立ち、昨今の環境変化を踏まえこれまでの取組事項・対応状況の点検を進めているところです。2022年度はサステナビリティ推進体制の実効性向上を図る観点から取締役会での審議を深め、マテリアリティ改定、人権方針改定等の取り組みを進めました。

今後は、こうした取り組みについて実効性を高めて運用していくことが必要と認識しています。各取組事項の目標値の開示等を通じて、進捗状況、進捗プロセスを明示し、環境・社会の各種課題解決に向けて着実に取り組みを進めていく方針です。

### 関連するマテリアリティ

#### ガバナンス・経営基盤マテリアリティ

マテリアリティ	リスク/機会	主たるステークホルダー	主な対応
コーポレートガバナンス	リスク/機会	社会、お客さま、株主・投資家、社員	社会的価値創出と経済的価値創出を両立させる経営フレームワークの確立。
受託者精神	リスク/機会	社会、お客さま、社員	善良な管理者の注意をもってお客さまのために忠実に行為にあたる受託者としての責任の全う、お客さまの最善の利益の実現。
リスク管理とレジリエンス	リスク	社会、お客さま、株主・投資家、社員	経営の健全性確保と経営戦略に基づくリスクテイクを通じた収益確保と持続的な成長。
コンプライアンスとコンダクト	リスク	社会、お客さま、社員	法令・市場ルール・社内規程類はもとより、広く社会規範を遵守した経営。
セキュリティ	リスク	社会、お客さま	サイバー攻撃の防止、システムリスク管理態勢の不断の見直し、顧客情報の適正な取得、利用、厳格な管理。